

添付書類の記載例

現認者（災害発生を目撃した者）がいる場合は、「現認書」にチェックを入れてください。

支部様式第3号

現 認 書
 事 実 証 明 書

被災職員に関する項目です。

被災職員	氏 名	熊本 太郎
	所属部局・課・係	〇〇部 〇〇課 〇〇係
	災 害 の 日 時	令和〇年〇月〇日 午前〇時〇分頃
	災 害 の 場 所	県庁本館内階段
災害発生 の状況 (報告を受けた 内容とその対応)	上記日時において、私が出張から戻り、階段に向かっていると、 同僚の熊本さんが2階から書類を持っておりてくる所でした。あと一段 ほどになったところで、熊本さんの体が傾いたかと思うとそのまま転倒しました。 すぐにかけて寄ったところ、本人が「右足を捻ったようで、痛くて力が入らない」 と言うので、肩を貸して庁内の診療所へ連れて行き、上司に報告しました。	
現認書（災害発生目撃者）の場合は、「現認しました」を○で囲んでください。	上記のとおり <u>現認しました。</u> 証明します。 令和〇年〇月〇日 住所又は所属 〇〇市〇〇町〇〇番地(〇〇部〇〇課〇〇係) 現認 職 主事 (報告)者 氏名 〇〇 〇〇	現認者の住所 (又は所属)

〔注意事項〕

- この証明書は災害の目撃者（現認者）が「現認書」として作成し、現認者がいない場合は、災害の報告を最初に受けた者が「事実証明書」として作成すること。
- 現認者(又は報告者)は自分がどのような状況で現認した(報告を受けた)かをできるだけ詳記すること。

* 被災職員の中立てを裏付ける重要な書類となるので、被災の態様をありのままに記載すること。

添付書類の記載例

現認者（災害発生を目撃した者）がいない場合は、「事実証明書」にチェックを入れてください。

支部様式第3号

現 認 書
 事 実 証 明 書

被災職員に関する項目です。

被災職員	氏 名	熊本 太郎
	所属部局・課・係	〇〇部 〇〇課 〇〇係
	災害の日時	令和〇年〇月〇日 午前〇時〇分頃
	災害の場所	県庁本館内階段
災害発生 の状況 (報告を受けた 内容とその対応)	<p>私が、自席において決裁用務を行っていたところ、熊本参事が足をひきずりながら室内に入って来たのが目に入ったため、本人に対して「どうしたのか」と尋ねたところ、庁舎内の階段で足を滑らせて負傷したとのことでした。</p> <p>負傷した部位を見たところ、赤く腫れており痛みもあるようだったので、課員である〇〇主事に対し、熊本参事を最寄の〇〇病院へ連れて行くよう指示しました。</p>	
	被災職員から、どのような報告を受けたのか、その後どのような対応を行ったのかをご記入ください。	
<p>上記のとおり <u>現認しました。</u> <u>証明します。</u></p> <p>令和〇年〇月〇日</p> <p>住所又は所属 〇〇市〇〇町〇〇番地(〇〇部〇〇課〇〇係)</p> <p>現認(報告)者 職 〇〇課長</p> <p>氏名 〇〇 〇〇</p>		

事実証明書（災害発生目撃者なし）の場合は、「証明します」を〇で囲んでください。

報告者の住所（又は所属）

〔注意事項〕

- この証明書は災害の目撃者（現認者）が「現認書」として作成し、現認者がいない場合は、災害の報告を最初に受けた者が「事実証明書」として作成すること。
- 現認者（又は報告者）は自分がどのような状況で現認した（報告を受けた）かをできるだけ詳記すること。

* 被災職員の申立てを裏付ける重要な書類となるので、被災の態様をありのままに記載すること。